



採血を受けられる患者さまへ

山口県立総合医療センター

2024年11月8日

「採血」は病気の診断や病状の把握を行う検査のため血液を採取する医療行為です。国家資格を有する「臨床検査技師」や「看護師」が採血を担当しております。安全で確実な採血のために以下にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

ご本人確認にご協力ください

「患者間違い防止」のため、ご自身の姓名を名のっていただいております。

以下に該当する方は、採血者にお申し出ください

- ◎採血時に気分の悪くなったことのある方
- ◎消毒薬（アルコールなど）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーをお持ちの方
- ◎血液透析中の方
- ◎血液をさらさらにする薬（ワーファリンなど）を服用中の方
- ◎その他、採血に関してご希望や不安のある方

しびれや痛みを感じたらお知らせください

採血中に強い痛みやしびれが生じたらすぐにお知らせください。

採血後は揉まずに押さえてください

採血した後に血が止まりにくかったり跡が青くなったりすることがあります。採血後5分間以上、採血したところを揉まずにしっかり押さえてください。



再採血

針を刺しても採血できない場合や、1回の採血で必要な血液量が採取できない場合には針を刺す場所を変えて再度、採血させていただきます。

疑問点などは

詳しい検査項目や結果の解釈などについては担当医におたずねください。なお、玄関入口に【主な検査項目の説明】を用意しております。ご利用下さい。

採血に伴い起こりうる症状とご注意

採血は細心の注意を払って行います。基本的に安全で、合併症を起こすことは少なく軽症なものが多いですが、まれに次のような症状が起こることがあります。その際は最善の処置を行います。

■止血困難・皮下血腫(青あざ)

採血後に血が止まりにくかったり青あざが生じたりすることがあります。十分圧迫して(押さえて)止血してください。血が止まりにくい方はお申し出ください。

■アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出ることがあります。アレルギーをお持ちの方はお申し出ください。

■神経損傷

採血後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続することがあります。約1万～10万回の採血に1回程度起こるとされています。痛み、しびれが続く場合はお申し出ください。

■血管迷走神経反応

採血時や採血前後に、神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい、気分不良、意識消失などをひき起こすことがあります。気分の悪くなったことがある方はお申し出ください。

※これらの症状が起きて診察を要した場合にかかる医療費は通常の保険診療扱いとなりますのでご了承ください。